

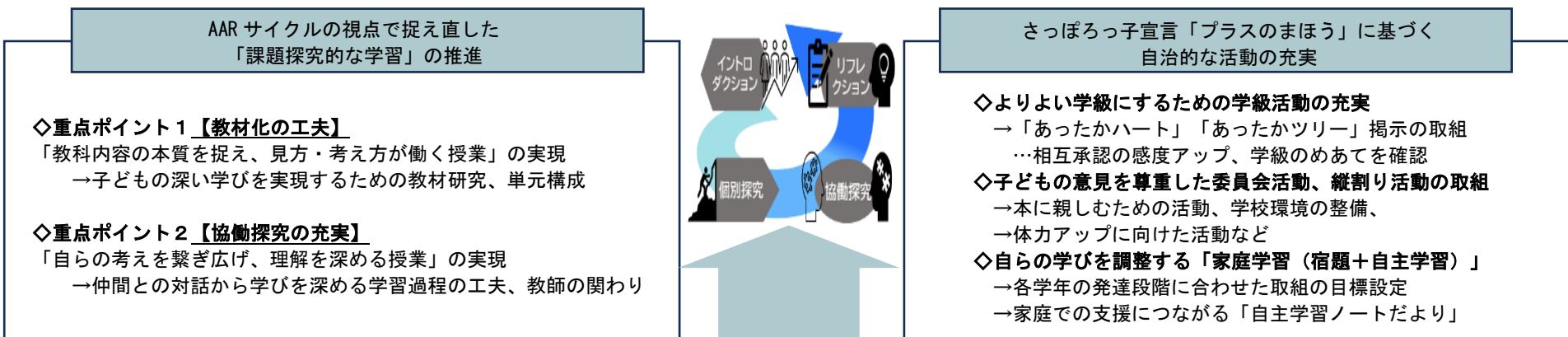
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

仲間と共に深く学ぶ力

目指す姿

<p>1.2年生（低プロ）で目指す姿</p> <p>自分の考えを言葉や動作で表現し、友達の考えと比べながら気付いたことを伝える姿。</p> <p><u>具体的な姿</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇さんと同じ。」「ここがちがう。」と言える。 ・気付いたことを絵や式、言葉などで表現できる。 	<p>3.4年生（中プロ）で目指す姿</p> <p>自分の考えと友達の考えを、理由とともに比較・関連付け、よりよい考えを見いだす姿。</p> <p><u>具体的な姿</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜなら～だから。」と理由を説明できる。 ・複数の考えのよさに気付く、自分の考えに取り入れる。 	<p>5.6年生（高プロ）で目指す姿</p> <p>自分の考えと友達の考えを関連付けて整理・再構築し、より深い理解へと高める姿。</p> <p><u>具体的な姿</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つまり～ということだ。」と考えをまとめられる。 ・「だったら～」と別の場面にも活用しようとする。
<p>すずかけ学級の目指す姿</p> <p>自分なりの方法で考えを表現し、他者と関わる中で気づきや学びを広げようとする姿。</p> <p><u>具体的な姿</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵やカード、具体物などで考えを表すことができる。 ・友達の考えや表現を、自分の考えに取り入れようとする。 		

今年度の具体的な取組



R7 成果と課題

成果

見方・考え方を働かせる教材化の工夫や、主体的な学びを生み出す関わり（イントロダクションの工夫や、自己選択・自己決定の場の設定）を通して、主体性の向上が見られた。

課題

札幌市の共通指標では、「自分が思っていることを人に伝えている。」の肯定的回答が78.7%と、他項目と比較してやや低い結果となった。また、全国学力・学習状況調査においても、自分の考えを言語化し、他者に伝えたり対話の中でつなげたりする力に課題があることが明らかとなった。

本プログラムの
実行について

新年度

- ◇本プログラムの共有
 - ・研究全体会（5月）
 - ・ホームページ掲載（5月）
 - ・パートナー校間研修

一人一人の教職員

- ◇日常の授業実践
- ◇各自の研修…札幌教、年次研修等
- ◇見合いっこウィークによる他学級・授業の交流研修

学校全体

- ◇授業実践交流 ◇教科担任制の実施
- ◇校内研修（なえぼワークショップ）
- ◇学力向上の取組
 - ・なえぼっこチャレンジテスト
 - ・なえぼっこゼミナール
- ・朝学習 ・家庭学習

次年度へ

- ◇学校評価
- ◇成果と課題を共有
 - ・研究全体会（2月）